



VOICE TRACER

VTR8010



VTR8010 説明書 / User Manual

日本語

01

English

43

もくじ

【ご使用の前に】	P.01
【安全上のご注意】	P.01・02
【付属品】	P.03
【各部名称】	P.03
【充電をする】	P.04・05
【電源のオン/オフ】	P.05
メインメニューについて	P.06
誤動作防止(ボタンホールド)	P.06
【音声録音】	P.07
表示画面の説明	P.07
基本操作	P.07・08
外部マイク接続	P.08
【録音 / 音楽ファイルの再生】	P.09
表示画面の説明	P.09
基本操作	P.10・11
ファイルの削除	P.12
歌詞表示(英文ファイルのみ)	P.12
音楽ファイルの取り込み方法	P.13
フォルダー構造	P.13
【再生設定】	P.14
リピート	P.15
A-B 間再生	P.15・16
繰返し回数	P.16
リプレイ間隔	P.17
再生速度(早聞き・遅聞き)	P.17

早送・早戻速度	P.18
詳細情報	P.18
イコライザー(音楽再生のみ)	P.19
ディスプレイ表示(音楽再生のみ)	P.19
【ラジオモード】	P.20
FM ラジオを聴く	P.20
自動選局	P.21
手動選局モード	P.21
チャンネルリストを表示する	P.22
FM 録音	P.23
保存したチャンネルを削除する	P.24
【ビデオ録画】	P.25
動画の撮影をする	P.25
動画の再生をする	P.25
録画再生設定	P.26・27
録画を削除する	P.27
【システム設定】	P.28
メモリ選択	P.29
録音形式設定	P.29
VA 録音(音声認識録音)	P.30
リッスンイン	P.30
自動分割録音	P.31
バックライト設定	P.31
自動電源オフ	P.32
日時設定	P.32~33

予約録音設定	P.33~35
言語設定	P.35
初期化など	P.36・38
【故障かも…と思ったら】	P.39
【アフターサービス】	P.40
【お問合せ / 修理受付窓口】	P.41
【製品仕様】	P.42

【ご使用の前に】

使用中に発生した不慮のデータロスに関しては、当社は一切責任を持ちません。重要な録音データはバックアップを取るなどの処理をお願いいたします。

長期間使用しない場合、バッテリーが完全に放電し充電出来なくなる場合がありますので、本機を長時間使用しない場合でも、半年ごとに 3/4 程度まで充電するようにしてください。

【安全上のご注意】

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

絵記号の意味

	この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。
	例)「分解禁止」を表す絵表示
	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。
	例)「電源プラグを抜く」を表す絵表示

警告

煙や異臭、異音が出たら、火災や感電の原因となります。充電器と接続している場合などはUSB端子を抜き、弊社サポートへお問い合わせください。

充電池の液漏れ、電池の膨張（本体の膨張）などが見受けられたら、素手で触らず、弊社サポート、修理受付までお問合わせください。

警告

浴室などの水場で使用しないでください。また汗による湿気にもご注意ください。火災や感電や腐食の原因となります。

温度が非常に高いところで充電したり、放置しないでください。火災や感電の原因となります。

【安全上のご注意】

警告

子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところに保管しないでください。けがや感電の原因となります。

分解・改造はしないでください。点検や修理は修理受付窓口へご依頼ください。けがや感電の原因となります。

運転中などを含め、危険な状況が予想される場所ではご使用を控えて下さい。

注意

はじめからボリュームを上げすぎないでください。突然大きな音が出て、耳を痛める原因となります。

汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。シンナーやベンジンは使用しないでください。 本体表面を傷めることがあります。

航空機内での使用は、航空会社の指示に従ってください。誤動作による事故の原因となることがあります。

適切以上の音量で長時間の使用はお控え下さい。

警告

運転中には使用しないでください。交通事故の原因となります。

注意

ペースメーカーなど医療機器を使用している場合は事前に医師に相談してください。 医療用電気機器に影響を与えることがあります。

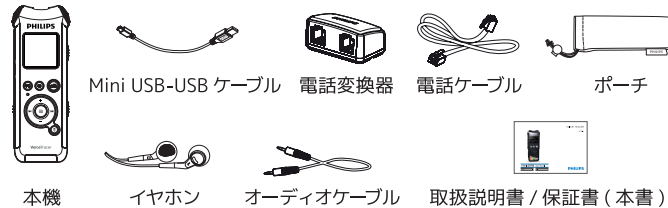
強い衝撃を与えたり、機器が壊れた状態で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

極端に熱くなる場所、直射日光が当たる場所に放置しないでください。

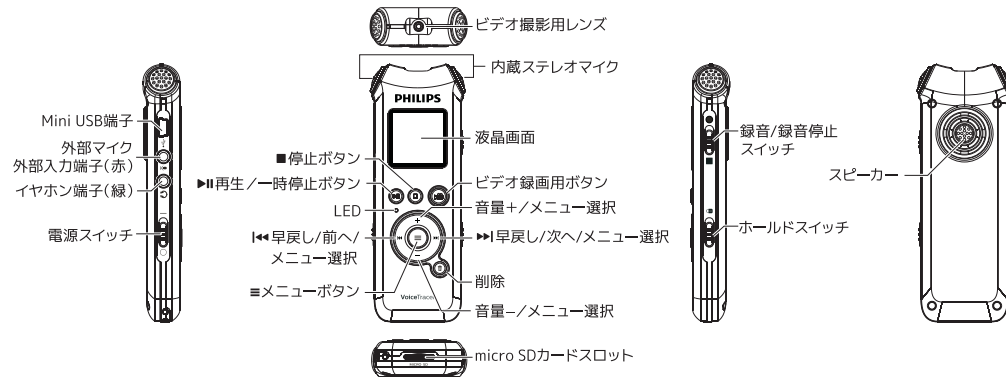
【付属品】

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください。万が一不足している物や破損しているものがある場合は、お買上げ店又は弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

microSDカードは付属しておりません。



【各部名称】



【充電をする】

ご使用前に本製品の充電を行ってください。

- 1 本機の電源をオンにします。
- 2 本体側面のMiniUSBポートに付属ケーブルのMiniUSBプラグ側を挿します。

3 パソコンで充電をする場合

起動したパソコンのUSBポートに、付属ケーブルのUSBプラグ側を接続します。充電が開始されるとUSBロゴが表示され、アイコンの電池残量が増減をします。

※約3時間でフル充電となります。



- 4 充電が完了すると電池残量の増減が停止します。充電完了後、本機からプラグを取り外します。

3 ACアダプタ (別売) で充電をする場合

ACアダプタ (別売) のUSBポートに、付属ケーブルのUSBプラグ側を接続します。



- 4 充電方法の選択をします。
通常充電又は急速充電から選択を行います。

メニュー	充電時間
通常充電	約3時間
急速充電	約2時間

※3秒間以内に選択を行わない場合、自動的に通常充電を開始します。

次のページへつづく→

【充電をする】

→前のページのつづき

- 5** 充電が開始されるとUSBロゴが表示され、アイコンの電池残量が増減をします。充電方法により、以下のようにアイコンが異なります。

※急速充電を選択後、約3分の1まで充電が満たされるとアイコンは通常充電表示に変化します。



通常充電



急速充電

- 6** 充電が完了すると電池残量の増減が停止します。充電完了後、本機からケーブルを取り外します。

※充電中本機の操作は出来ません。

※急速充電を選択できるのはAC充電時に限ります。

本機は電源オフの状態では充電されません、必ず電源をオンにして充電を行ってください。

【電源のオン/ オフ】

電源オン

本機側面の**電源スイッチを上（I マーク）方向にスライド**します。「PHILIPS」と表示され電源が入ります。

メモ:電源スイッチがオンの場合、再生/一時停止ボタン(▶II)の長押しでも電源を入れる事が出来ます。

※microSDカードを挿入している場合「PHILIPS」の後に「SD挿入済」と表示されます。

電源オフ

本機側面の**電源スイッチを下（Oマーク）方向にスライド**します。

メモ:再生/一時停止ボタン(▶II)の長押しでも電源を切る事が出来ます。その場合「Goodbye」と表示され電源がオフになります。

※長時間使用しない場合は、電源スイッチにて電源をオフにしてください。

※再生中や録音中に電源をオフにしないでください。ファイル破損や動作不良の原因となります。

【電源のオン/ オフ】

メインメニューについて

≡**ボタンを2～3秒押す**とメインメニューを表示します。**メインメニューには次の5つのモード**があります。詳しい説明は各ページをご覧ください。

モード	アイコン	ページ
録音		P07
音楽		P09
録画		P25
ラジオ		P20
設定		P28

誤動作防止 (ボタンホールド)

誤ってボタンが押されても動作しないよう設定します。

※ボタンホールド中も、音声録音/停止機能の動作は可能です。

※ボタンホールド中も、予約録音は起動します。

※ボタンホールド中は、録画はできません。

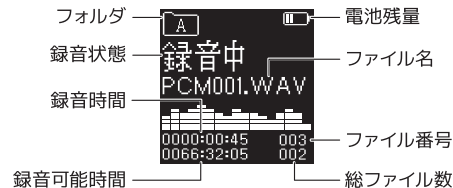
- 1** ホールドスイッチを上方向（側）にスライドします。
- 2** 液晶画面に**ホールドマークが約2秒間表示**され、**各ボタンの操作が無効**になります。



- 3** 誤動作防止を解除するには、**ホールドスイッチを下方向にスライド**します。

【音声録音】

表示画面の説明



【音声録音】

基本操作

- 1 電源をオンにします。
- 2 録音ファイルを保存するフォルダA~Dの中から指定します。**停止ボタンを押すたびにA→B→C→Dの順にフォルダが切替ります。**

- ・音楽フォルダへの保存はできません。
- ・フォルダにはそれぞれ最大99ファイル（合計で396ファイル）まで保存できます。

- 3 **録音/停止スイッチを上方向(録音側)にスライド**すると録音が始まります。

- ・録音が始まるとLEDランプが赤色に点灯します。
- ・本機上部にあるマイクを、録音する音源の方向に向けてください。
- ・VA録音（音声認識録音）設定がオンになっていると、本機が音声に反応するまで録音が始まりません→P30参照

次のページへつづく→

【音声録音】

→前のページのつづき

- 4 録音中に**再生/一時停止ボタンを押すと録音が一時停止**します。再度、**再生/一時停止ボタンを押すと録音が再開**します。

- ・一時停止中はLEDランプが赤色に点滅します。

- 5 録音を終了するには、**録音/停止スイッチを下方向(停止側)にスライド**します。録音が終了し、録音ファイルが2.で指定したフォルダに保存されます。

- ・終了するとLEDランプが消灯します。
- ・保存データが使用可能な容量を超えるか、録音ファイルが396に達すると録音は停止します。再度録音を再開するにはファイルの一部を削除するか、パソコンに移動をして空き容量を確保してください。
- ・録音中は、電源を切らないでください。録音ファイルの損失または破損の原因となります。

※本機では6種類の録音フォーマットが選択できます。自分が希望する録音フォーマットを事前に選択してください。→P29参照
※録音中に▶▶ボタンをおすと、その時点までの録音ファイルが保存されそして次の録音が始まります。

【音声録音】

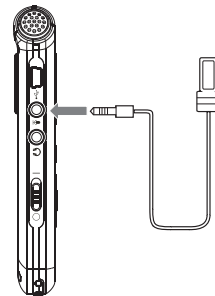
外部マイク接続

外部マイクを使用して録音が可能です。

※外部マイクは付属しておりません。

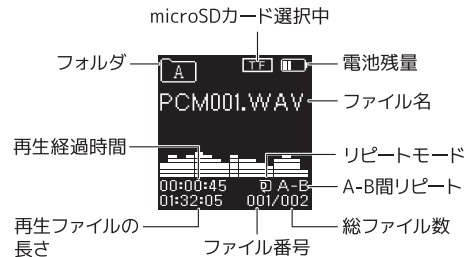
- 1 本機の**外部マイク外部入力端子(赤)**に外部マイクのプラグを接続します。
- 2 外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。

※外部マイクのプラグは、ステレオタイプをご使用ください。

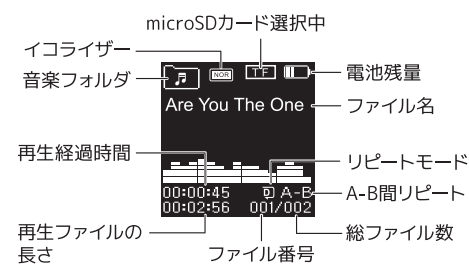


【録音 / 音楽ファイルの再生】

表示画面の説明
録音ファイル再生時



表示画面の説明
音楽ファイル再生時



【録音 / 音楽ファイルの再生】

基本操作
録音ファイル再生時

- 1 電源をオンにします。
- 2 メインメニューから「録音」を選び ≡ボタンで決定します。
- 3 停止ボタンを短く押して、再生したいファイルがあるフォルダを選択します。停止ボタンを押すたびにA→B→C→Dの順にフォルダが切り替わります。
- 4 ◀◀/▶▶ ボタンで再生したいファイルを選択します。
- 5 再生/一時停止ボタン(▶||)を押すと再生が始まります。

- ・再生が開始するとLEDが緑色に点灯します。
- ・一時停止中はLEDが緑色に点滅し、停止すると消灯します。

【再生中に可能な本機の動作】

▶▶ボタン	短押し	次のファイルへ移動
	長押し	早送り
◀◀ボタン	短押し	前のファイルへ移動
	長押し	早戻し
■停止ボタン	短押し	停止
+/-ボタン	短押し	音量調整
≡ボタン	短押し	再生設定→P14
	長押し	メインメニュー表示
▶ ボタン	短押し	一時停止
	長押し	電源オフ

【録音 / 音楽ファイルの再生】

基本操作

音楽ファイル再生時

- 1 電源をオンにします。
- 2 メインメニューから「音楽」を選び ≡ボタンで決定します。
- 3 +/−ボタンで再生したいファイルを選択します。
- 4 再生/一時停止ボタン(▶||)を押すと再生が始まります。

- ・再生が始まるとLEDが緑色に点灯します。
- ・一時停止中はLEDが緑色に点滅し、停止すると消灯します。

【再生中に可能な本機の動作】

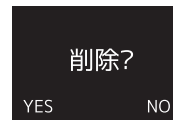
▶▶ボタン	短押し	次のファイルへ移動
	長押し	早送り
◀◀ボタン	短押し	前のファイルへ移動
	長押し	早戻し
■停止ボタン	短押し	停止
+/-ボタン	短押し	音量調整
≡ボタン	短押し	再生設定→P14
	長押し	メインメニュー表示
▶ ボタン	短押し	一時停止
	長押し	電源オフ

【録音 / 音楽ファイルの再生】

ファイルの削除

- 1 削除するファイルの再生を停止します。
・削除する前に、削除したいファイルを選択しておきます。
- 2 削除ボタンを2〜3秒長押しします。
- 3 次の画面でYesを選択し、≡ボタンを押すと削除が完了します。

- ・黄色文字で表示されているのが選択中のコマンドです。
- ・Noを選択すると元の画面に戻ります。



歌詞表示 (英文ファイルのみ)

本機は "*.lrc" ファイルをサポートしています。

※音楽ファイル再生中、液晶画面上に文章や歌詞を表示する機能です。
表示させたい文章は同期テキスト (lrcファイル) として本機に転送する必要があります。

※音楽ファイルlrcファイルが一致すると、画面上部の音楽フォルダアイコンが次のように表示されます。

※本機は日本語のファイルをサポートしていません。英文ファイルのみ歌詞表示が可能です。

※未対応の歌詞付ファイルを入れると他のファイル再生に悪影響を与える可能性があります。



【録音 / 音楽ファイルの再生】

音楽ファイルの取り込み方法

※本機での再生可能音楽ファイルはMP3/WAVとなります
※音楽データの作成方法は、ご使用のパソコンやソフトにより変わります。ご使用のパソコン・ソフトメーカーにご確認ください。

- 1 体側面のMini USBポートに同梱ケーブルのMiniUSBプラグを差します。



- 2 パソコンのUSBポートにUSBプラグを差します。

- 3 本機の「**MUSIC**」フォルダ内に音楽ファイルを入れます。

※MUSICフォルダ内の階層は認識しません。音楽ファイルは必ず直接「MUSIC」フォルダ直下に入れてください。

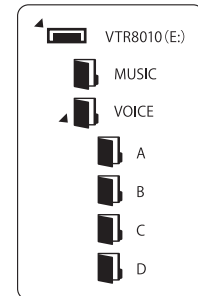
- 4 音楽ファイル転送後、本機をパソコンから取り外します。

フォルダー構造

Windows ファイルエクスプローラーで表示される本機のフォルダー構造を事例として以下に示します。

録音されたファイルは「**VOICE**」フォルダー内の「**A**」「**B**」「**C**」「**D**」いずれか（録音時に指定したフォルダー内）に保存されています。

録画されたファイルは「**VIDEO**」フォルダに保存されています。また、音楽ファイルは「**MUSIC**」フォルダー内にコピーしてお聴きください。



※ボリュームラベル名「VTR8010」の名前変更は行わないでください。

※「VOICE」および「MUSIC」のフォルダー名変更は行わないでください。

※MUSICフォルダ内の階層は認識しません。音楽ファイルは必ず直接「MUSIC」フォルダ直下に入れてください。

【再生設定】

録音ファイルや音楽ファイル再生時の設定を行います。

- 1 再生画面にて**≡ボタン**を短く押すと、再生設定メニューが表示されます。
- 2 **▲/▼ボタン**で設定メニューを選択し、**≡ボタン**で決定します。
- 3 モードの切り替えは**▲/▼ボタン**で行い、**≡ボタン**で決定します。
- 4 設定画面を終了するには**停止ボタン**を押すか、設定メニュー画面にて「Exit」を選択してください。

【再生設定メニュー/モード一覧】

設定メニュー	モード				ページ
リピート	ノーマル	1曲 リピート	フォルダ内 リピート	ランダム 再生	P15
A-B 間再生	—				P15・16
繰返し回数	1～10回				P16
リプレイ間隔	1～10秒				P17
再生速度	－8～＋8				P17
早送・早戻速度	×2～×3.2				P18
詳細情報	—				P18
イコライザー (音楽再生のみ)	Normal		Pop	Classic	P19
	soft	Jazz	Rock	DBB	
ディスプレイ表示 (音楽再生のみ)	スペクトラム		歌詞		P19
Exit	メニューを終了します				—

【再生設定】

リピート

ファイル再生時のリピート設定を行います。

【下記の4つから選択し≡ボタンを短く押して決定します。】

表示	動作
ノーマル	フォルダ内全てのファイルを順番に再生し、最後のファイルで停止します
1曲リピート	ファイルを繰り返し再生します
フォルダ内リピート	フォルダ内全てのファイルを順番に繰り返し再生します
ランダム再生	フォルダ内のファイルをランダムに繰り返し再生します

A-B間再生

指定したA点とB点の区間を繰り返し再生します。



- 1 A-B間再生をしたいファイルの再生をします。
- 2 ≡ボタンを短く押し再生メニューを表示し、「A-B間再生」にカーソルを合わせます。
- 3 リピートを開始したい地点(A)で、≡ボタンを短く押します。
- 4 開始地点(A)が決まり再生画面に戻り「A-B」のAがオレンジ色に変わります。

次のページへつづく→

【再生設定】

→前のページにつづき

- 5 続いてリピートを終了したい地点(B)で▶▶|ボタンを押すと「A-B」がオレンジ色になりA-B間のリピートを開始します。
- 6 A-B間再生を終了するには以下のボタンを押して下さい

表示	動作
▶▶ 再生ボタン	A-B再生終了後、一時停止状態となります
■停止ボタン	A-B再生終了後、停止します
≡ボタン	A-B再生終了後、通常再生を続けます

- ・リピートを終了しない場合でも、繰返し回数設定数再生後に自動的に終了します。
- ・「繰返し回数」設定にて再生回数の設定ができます。
→P16

繰返し回数

A-B間再生時に、再生する回数を設定します。

繰返し回数

5

- 1 再生メニューで「繰返し回数」を選択し≡ボタンを押します。
- 2 ◀◀/▶▶ボタンで設定し、≡ボタンを押します。

・1回～10回の間で設定が可能です。

【再生設定】

リプレイ間隔

A-B間再生時、再生する間奏時間を設定します。



- 1 再生メニューで「**リプレイ間隔**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 2 ◀◀/▶▶ボタンで設定し、**≡ボタン**を押します。
・1秒～10秒の間で設定が可能です。

再生速度（早聞き・遅聞き）

再生時の、速度設定を行います。



- 1 再生メニューで「**再生速度**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 2 ◀◀/▶▶ボタンで設定し、**≡ボタン**を押します。
・－8（遅）～＋8（早）の間で設定が可能です。

【再生設定】

早送・早戻速度

早送り・早戻し時のスピード設定を行います。



- 1 再生メニューで「**早送・早戻速度**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 2 ◀◀/▶▶ボタンで設定し、**≡ボタン**を押します。
・x2・x4・x8・x16・x32の5種類から選べます。

詳細情報

選択したファイルの詳細情報を表示します。



- 1 再生メニューで「**詳細情報**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 2 ファイルの詳細が以下のように表示されます。
音楽ファイル…ファイル名/アルバム/アーティスト
/ジャンル/年/ファイル時間/ビットレート/サンプルレート/ファイルフォーマット

録音ファイル…ファイル名/ファイル時間/ビットレート/サンプルレート/ファイルフォーマット

【再生設定】

イコライザー（音楽再生のみ）

※イコライザー設定が出来るのは音楽再生モードのみです

イコライザー▶	Normal ▶
リピート	Pop
ディスプレイ	Classic
A-B間再生	Soft

1 再生メニューで「イコライザー」を選択し
≡ボタンを押します。

2 +/−ボタンでお好みのモードを設定し、
≡ボタンを押します。

ディスプレイ表示(音声再生のみ)

再生中、ディスプレイに表示する画面の選択をします。

※ディスプレイ表示設定ができるのは音楽再生モードのみです。

スペクトラム
・歌詞

1 再生メニューで「ディスプレイ表示」を選択し
≡ボタンを押します。

【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
スペクトラム	ディスプレイに周波数スペクトラムを表示します
歌詞	歌詞ファイル再生時、ディスプレイに歌詞を表示します ※歌詞ファイルを本機が認識した場合のみ表示されます。歌詞表示についてはP12をご参照ください。

【ラジオモード】

FMラジオを聴く

1 イヤホンをつなぐ場合はイヤホンジャックに差し込みます。
※本機はイヤホンがFMラジオのアンテナとなっております。ラジオをお聴きになる際は必ずイヤホンをつけてご使用ください。
※ラジオ放送は、スピーカーからは聴く事ができません。



2 電源をオンにします。

3 ≡ボタンを2〜3秒長押し、メインメニューを表示します。

4 ◀◀/▶▶ボタンでラジオモードを選択し、
≡ボタンを押します。

5 ラジオ受信画面に変わります。

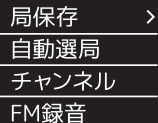
6 再生/一時停止ボタン(▶||)を押すたびに、
下記のモードに切り替わります。

モード	動作	画面
手動選局モード	周波数の変更や、チャンネルの登録・削除を行います。	
ユーザーモード	登録したチャンネルを選局します。 ※ユーザーモードはチャンネル登録を行った後に選択可能です。	

【ラジオモード】

自動選局

自動で受信可能な放送局を選局し、チャンネル保存をします。



※本機はイヤホンがFMラジオのアンテナとなっております。ラジオをお聴きになる際は必ずイヤホンを差してご使用ください。
※ラジオ放送は、スピーカーからは聴く事ができません。

- 1 FMラジオ受信画面で**≡ボタン**を短く押し、ラジオメニューを表示します。
- 2 **+/-ボタン**で「自動選局」を選択し、**≡ボタン**を押すと自動選局が開始します。
- 3 選局が終わると自動保存され、ラジオ受信画面に戻ります。
- 4 保存をしたチャンネルはユーザーモードから**◀◀/▶▶ボタン**で選局ができます。

手動選局モード

手動で受信可能な放送局を選局し、チャンネル保存をします。

・01～40の40局を保存できます。

- 1 ラジオ受信画面で手動選局モードを選びます。
- 2 登録したい放送局を選局します。
◀◀/▶▶ボタンを短く押すと周波数が0.1MHzずつ変わり、長押しするとオート選局となります。
- 3 **≡ボタン**を押してサブメニューを表示します。
- 4 **+/-ボタン**で「局保存」を選択し**≡ボタン**を押すとチャンネルリストが表示されます。

次のページへつづく→

【ラジオモード】

→前のページにつづき

- 5 **+/-ボタン**で登録したい番号にカーソルを合わせます。**≡ボタン**を押すとチャンネルが登録され、ラジオ受信画面に戻ります。

- 6 保存したチャンネルは、ユーザーモードのチャンネルリストから選局ができます。
→P22

チャンネルリストを表示する

保存したチャンネル一覧を表示します。

- 1 ユーザーモードで**≡ボタン**を押し、サブメニューを表示します。
- 2 **+/-ボタン**で「チャンネルリスト」を選択し**≡ボタン**を押すと、チャンネルリストが表示されます。
- 3 **+/-ボタン**で選局をし**≡ボタン**を押すとラジオ受信画面に移動します。

【ラジオモード】

FM録音

ラジオ放送の録音を行います。

- ・ラジオ放送の録音形式はHQ録音 (MP3/128kbps) のみとなります。→P29参照
- ・ファイルは、フォルダ選択で設定したA,B,C,Dのいずれかのフォルダに保存されます。→P7参照



- 1 録音したい放送局を選局します。
- 2 ≡ボタンを短く押し、サブメニューを表示します。
- 3 +/-ボタンで「FM録音」を選択し、≡ボタンを押すと録音が始まります。

- 4 録音を終了するには、**停止ボタン**を押します。録音終了と同時にファイル保存されます。
- 5 次の画面にて「**録音**」を選択すると録音モードに移動します。「**ラジオ**」を選択するとFMラジオ受信画面に戻ります。選択は**≡ボタン**で行います。

【ラジオモード】

保存したチャンネルを削除する

- 1 ユーザーモードに合わせます。
- 2 ◀◀/▶▶ボタンで削除したい放送局にチャンネルを合わせます。
- 3 ≡ボタンを押して「**削除**」にカーソルを合わせ**≡ボタン**を押します。
- 4 次の画面にて◀◀/▶▶ボタンで「**Yes**」にカーソルを合わせます。
- 3 ≡ボタンを押すと削除が完了します。

【ビデオ録画】

動画の撮影をする

動画の撮影を行います。

1 電源をオンにし、録画ボタンを長押しします。

2 ビデオ撮影用レンズを被写体へ向けてください。ディスプレイには撮影中の映像が表示されます。

・録画が開始するとLEDランプが赤色に点灯します。

3 録画中に、録画ボタンを押すと一時停止します。再度録画ボタンを押すと録画が再開します。

・一時停止中はLEDランプが赤色に点滅します。

4 録画の停止/保存を行うには■停止ボタンを押します。停止を行うと保存された動画一覧に移動します。

※動画の解像度は1280×720pixel / 30fps固定です。

※録画ファイルは4GBに到達した時点で自動的に保存され、録画終了となります。

動画の再生をする

1 メインメニューから◀◀/▶▶ボタンで「録画」モードを選択し≡ボタンを押します。

2 動画ファイル一覧が表示されます。＋/－ボタンでファイルを選択し、再生/一時停止ボタン(▶II)を押すと再生が開始します。

【再生中に可能な本機の動作】

▶IIボタン	短押し	一時停止 / 再生
■停止ボタン	短押し	停止
▶▶ボタン	短押し	次のファイルへ移動
	長押し	早送り
◀◀ボタン	短押し	前のファイルへ移動
	長押し	早戻し
＋/－ボタン	短押し	音量調整
≡ボタン	短押し	録画再生設定→P26

※再生中、予期せぬエラーが発生した場合は工場出荷へ戻す(P38)や初期化(P37)を行ってください。

【ビデオ録画】

録画再生設定

録画再生中に≡ボタンを押すと、録画ファイル再生時の設定ができます。

【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作	ページ
リピート	ファイル再生時のリピート設定を行います	P26
早送・早戻速度	早送り・早戻し時の速度設定を行います	P27
詳細情報	選択したファイルの詳細情報を表示します	P27
Exit	メニューを終了します	－

録画再生設定

リピート

ファイル再生時のリピート設定を行います。

【下記から選択し≡ボタンを短く押して決定します】

モード	動作
ノーマル	フォルダ内全てのファイルを順番に再生し、最後のファイルで停止します
1曲リピート	ファイルを繰り返し再生します
フォルダ内リピート	フォルダ内全てのファイルを順番に繰り返し再生します
ランダム再生	フォルダ内のファイルをランダムに繰り返し再生します

【ビデオ録画】

録画再生設定
早送・早戻速度

早送り・早戻し時のスピード設定を行います。

- 1 再生メニューで「**早送・早戻速度**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 2 **◀◀/▶▶**ボタンで設定し、**≡ボタン**を押します。
・0～4の間で設定が可能です。

録画再生設定
詳細情報

選択したファイルの詳細情報を表示します。

- 1 再生メニューで「**詳細情報**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 2 ファイルの詳細が以下のように表示されます。

ファイル名/解像度/フレームレート/ビットレート/
ファイル時間/ファイルサイズ

動画を削除する

- 1 動画ファイル一覧の画面で**削除ボタン**を約**2秒間長押し**します。
- 2 「**ファイル削除**」もしくは「**全削除**」を選択し**≡ボタン**を押します。
- 3 次の画面で「**YES**」を選択し**≡ボタン**を押すと削除が完了します。

モード	動作
ファイル削除	選択中のファイルが削除されます。
全削除	保存しているすべてのファイルが削除されます。
Exit	削除を中止します。

【システム設定】

- 1 電源をオンにし、**≡ボタン**を**2～3秒長押し**し、メインメニューを表示します。
- 2 **◀◀/▶▶**ボタンで「**設定**」を選択し、**≡ボタン**を押します。
- 3 **+/-**ボタンで設定メニューの選択をし、**≡ボタン**を押します。
- 4 **+/-**ボタンでモードの切り替えを行います。
- 5 **≡ボタン**を押すと設定が完了し、設定メニュー一覧に戻ります。
- 6 元の画面に戻るには**停止ボタン**を押してください。

※設定途中で停止ボタンを押すと、変更した項目は保存されません。設定を保存するには**≡ボタン**を押してください。

【設定メニュー/モード一覧】

設定メニュー	モード						ページ
メモリ選択	本体			SDカード			P29
録音形式	HPCM	PCM	SHQ	HQ	SP	SLP	P29
VA録音 <small>音声認識 録音</small>	オフ			オン			P30
リッスンイン	オフ			オン			P30
自動分割録音	オフ		30分		60分		P31
バックライト	0	15秒	30秒	45秒	60秒		P31
自動電源オフ	0	30秒	3分	5分	10分		P32
日時設定	時計設定			時刻設定			P32・33
予約録音	予約日時		録音音源		録音時間		P33~35
言語	English			日本語			P35
初期化など	詳細情報	本体 初期化	カード 初期化	工場出荷 へ戻す			P36~38

【システム設定】

メモリ選択

録音データの保存先、データの再生場所を設定します。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
本体	内蔵メモリに保存します
SDカード	microSD カード（市販品別売）に保存します

※microSDカードが未挿入の際は「SDカード」の選択はできません。
※64GBまでのmicroSDカードに対応しています。
※録音形式HPCM/PCMを選択した場合、録音ファイルはmicroSDカードには保存できません。内蔵メモリのみ保存されます。
※誤作動の可能性が御座いますので、Class6以上のmicroSDカードをご使用ください。

録音形式設定

録音フォーマットの設定を行います。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	ビットレート	拡張子	特長
HPCM	3072kbps	WAV	最高音質で録音します
PCM	1536kbps	WAV	高音質で録音します
SHQ	192kbps	MP3	普通音質で録音します
HQ	128kbps	MP3	普通音質で録音します
SP	64kbps	MP3	並音質で録音ファイルが小さい
SLP	8kbps	MP3	並音質で録音ファイルが最小です

※HPCM/PCMを選択した場合、1時間毎にファイル保存しながら録音します。
※HPCM/PCMを選択した場合、録音ファイルは内蔵メモリのみに保存されます。
※SLPモードは長時間録音が優先のため録音品質が低くなります。大事な録音を行う際はHQモード以上の設定をおすすめします。

【システム設定】

VA録音(音声認識録音)

音声に反応して自動で録音の開始/一時停止を行います。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
オフ	音声自動録音をオフにします
オン	音声自動録音をオンにします

リッスンイン

イヤホンから録音中の音声聞こえるように設定します。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
オフ	録音中、イヤホンから音声は聞こえません
オン	録音中、イヤホンから音声聞こえます

【システム設定】

自動分割録音

録音中、設定した時間毎にファイル保存をします。録音はそのまま続け別ファイルとして録音されます。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
オフ	自動分割オフ
30分	30 分毎に分割して録音を行います
60分	60 分毎に分割して録音を行います

バックライト設定

一定時間本機を使用しない場合に、液晶画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。・消灯中も動作は継続します



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
0	バックライトを常時オンにします
15 Second	無操作の場合 15 秒後に消灯します
30 Second	無操作の場合 30 秒後に消灯します
45 Second	無操作の場合 45 秒後に消灯します
60 Second	無操作の場合 60 秒後に消灯します

【システム設定】

自動電源オフ

操作を行わない状態で一定の時間が経過したときに、電源を自動的にオフにします。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
0	自動電源オフしません。
30 Second	無操作の場合 30 秒後に電源が切れます
3 Minute	無操作の場合 3 分後に電源が切れます
5 Minute	無操作の場合 5 分後に電源が切れます
10 Minute	無操作の場合 10 分後に電源が切れます

日時設定

本機の日時設定を行います。

▲/▼ボタンで時計設定・時刻設定の中から設定する項目を選択し、≡ボタンを押します。

- ・時計設定…12H/24H表示を設定します
- ・時刻設定…現在の日時を設定します

時計設定



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
12H	時刻を 12 時制で表示します
24H	時刻を 24 時制で表示します

【システム設定】

日時設定

時刻設定

時刻設定

16:03

2018・01・01

1 +/−ボタンで西暦を設定し、
◀◀/▶▶ボタンで次の項目に移ります。

2 西暦→月→日→時間→分の順番で、同じ
方法で設定します。

3 ≡ボタンを短く押すと設定が完了します。

予約録音設定

設定した時間に自動的に録音を開始します。

※電源スイッチがオフの際、タイマーは起動しませんのでご注意ください。
※再生/一時停止ボタンで電源をオフにした場合、又は自動電源オフ設定にて電源をオフにした場合予約録音は作動します。

設定

予約日時

録音音源

録音時間

+/−ボタンで予約日時・録音音源・録音時間から
設定する項目を選択し、≡ボタンを押します。

- ・予約日時…予約録音を開始する日時を設定します
※「日時設定」で設定した日時で表示されます。→P35・P36参照
- ・録音音源…予約する音源の設定をします。
- ・録音時間…予約録音をする時間を設定します。

【システム設定】

予約録音設定

予約日時

1 予約日時を選択し、≡ボタンを押します。

2 予約録音を開始する日付の設定を行います。
+/−ボタンで数字が増減し、
◀◀/▶▶ボタンで次の項目へ移動します。

3 西暦→月→日→時間→分の順番で、同じ方法で
設定し、≡ボタンを短く押すと設定が完了します。

4 設定を完了するには、
≡ボタンを押してください。

予約録音設定

録音音源

予約録音の録音音源を選択し
≡ボタンを押します。

設定

・マイク音源

FM 音源

【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
マイク音源	設定時刻になると、音声録音を自動で行います
FM音源	設定時間になると、FM ラジオの録音を自動で行います。 ◀◀/▶▶ボタンで録音したい周波数帯に設定します。 ※本機はイヤホンがFMラジオのアンテナとなっております。ラジオ録音する際は必ずイヤホンを挿してご使用ください。

【システム設定】

予約録音設定

録音時間

予約録音の録音時間を選択し、
≡ボタンを押します。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
全て	録音を手動で止めるまで録音し続けます
30分	30分間録音を行い、自動的に保存終了します
60分	60分間録音を行い、自動的に保存終了します
120分	120分間録音を行い、自動的に保存終了します

言語設定

ディスプレイに表示する言語の設定を行います。
・出荷時は日本語設定となっています。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
English	英語で表示します
日本語	日本語で表示します

【システム設定】

初期化など

本機の初期化や確認を行います。



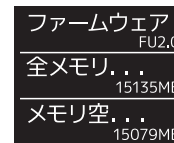
【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作	ページ
詳細情報	本機の情報を表示します	P36
本体初期化	本機の内蔵メモリを消去 / 初期化します	P37
カード初期化	microSD メモリを初期化します	P37
工場出荷へ戻す	工場出荷時の設定に戻します	P38

初期化など

詳細情報

本機の情報を表示します。



【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

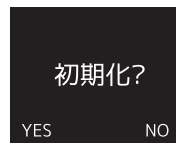
モード	動作
ファームウェア	ファームウェアのバージョンを表示します
全メモリ容量	使用中の内蔵メモリ容量を表示します
メモリ空き容量	内蔵メモリの空き容量を表示します
カード総容量	microSD カードの使用容量を表示します
カード空き容量	microSD カードの空き容量を表示します

【システム設定】

初期化など

本体初期化

本機の内蔵メモリを消去/初期化します。



※録音ファイル・音楽ファイル全てが消去されます。重要なファイルはパソコン等にバックアップをしてから初期化を行ってください。
※必ず本機にて初期化を行ってください。必要なフォルダが自動作成されます。

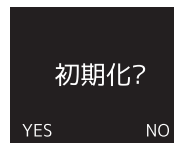
【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
YES	本機を初期化します
NO	初期化をキャンセルします

初期化など

カード初期化

外付けのmicroSDカードを消去/初期化します。



※録音ファイル・音楽ファイル全てが消去されます。重要なファイルはパソコン等にバックアップをしてから初期化を行ってください。
※必ず本機にて初期化を行ってください。必要なフォルダが自動作成されます。

【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

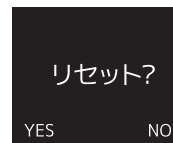
モード	動作
YES	microSD カードを初期化します
NO	初期化をキャンセルします

【システム設定】

初期化など

工場出荷状態へ戻す

本機の設定をお買上げ時の状態へ戻します。



※データは消去されません。

【下記から選択を行い、≡ボタンを短く押すと決定します】

モード	動作
YES	設定をリセットし、工場出荷状態へ戻します
NO	リセットを行いません

【故障かも…と思ったら】

電源が入らない すぐに電源が切れてしまう	・バッテリーが空の可能性があります。本機の充電を行ってください。
動作しない	・ボタンがホールドされていませんか？画面にホールドマークが出ていないかご確認ください。 ・リセットを行います。再生/一時停止ボタンを長押しすると電源がオフとなります。
パソコンに認識されない	・接触不良の可能性があります。USBケーブルを抜いて、再度しっかりと挿入してください。 ・同梱のUSBケーブルで無いと本機のフォルダやファイルにアクセス出来ません。
音楽ファイルが再生されない	・対応以外の音楽フォーマットは再生できません。 ・「著作権あり」設定がされた音楽ファイルは再生できません。 ・音楽ファイルをフォルダに入れて、本機MUSICフォルダに入れていませんか？ 直接本機の「MUSIC」フォルダの直下に入れないと再生ができません。
音が出ない	・音量がゼロになっていませんか？ ・イヤホン（ヘッドホン）が端子にしっかりと挿されているかご確認ください。
初期化後PC上で確認すると、MUSICフォルダが消えている	・PCから本機を外した状態で停止ボタンを押し音楽再生フォルダを選択すると、フォルダが自動作成されます。もしくはPCにて、MUSICフォルダを作成してください。

【アフターサービス】

修理を依頼される前にP39ページの「故障かも…と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買上げ店または弊社カスタマーサポートにご相談ください。

- 保証書を必ずご確認ください** ※本機を分解すると、保証が無効になります。
保証書については、必ず「お買上げ日」と「正規販売店名」の記入があることを確かめてからお買上げ店よりお受け取りください。また、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。

弊社では、お客様からの「製品の使い方や仕様に関するご質問」「有償修理のご依頼」には対応しておりますが、保証期間内での「返品・交換・無償修理」は正規販売店経由でのみ行なっております。返品などをご希望の方は、ご購入された販売店までお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

- 修理をご依頼される場合**
修理を依頼される前にP39ページの「故障かも…と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買上げ店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。
※保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。
※保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償修理させていただきます。

■修理をご依頼されるときにご準備いただきたい内容

- お客様の氏名 / 住所 / 電話番号
- 製品名 / 型番 / お買上げ日 / お買上げ店
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

【お問い合わせ／修理受付窓口】

カスタマーサポート （平日 10:00～12:00 ／ 13:00～17:00） 〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地2 TRビル6F

 **0570-020-511**

Speech Processing Solutions GmbH,
Gutheil-Schoder-Gasse 8-12, 1100 Vienna, Austria
JINGWAH DIGITAL TECHNOLOGY CO.,LTD

Eメール Philips.icrecorder@stayer.co.jp
HP http://www.stayer.co.jp

【製品仕様】

主な仕様	内蔵メモリー	16GB
	内蔵バッテリー	650mAh リチウムバッテリー
	内蔵マイク	ステレオ
	充電時間	約3時間（急速充電 約2時間）
	バッテリー連続使用時間（録音時）	約10時間
	バッテリー連続使用時間（録画時）	約1時間
	イヤホンジャック	φ3.5mmステレオ
	使用環境	温度5℃～45℃/湿度10%～90% （結露なきこと）
	重量（約）	80g
	寸法（約） 高さ×幅×奥行き	104×38×14mm
	スピーカーサイズ（約）	直径20mm丸型
	スピーカー最大出力	1W
	外部メモリーカード	microSD最大(64GB)
	ラジオ周波数（FM）	76.0MHz～108.0MHz
	入力端子	外部マイク入力端子
	対応OS	Windows10/8/7/XP , Mac OS X10.5～10.10 ,Linux

※充電時間、連続使用時間、録画時間はあくまでも目安であり、使用状況・環境によって異なる場合がございます。
※製品の色は印刷物なので実際の色と異なる場合があります。
※製品仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

録音時間（約）	WAV	HPCM 96kHz/16bit	録音時間	約11時間
		PCM 48kHz/16bit	録音時間	約22時間
	MP3	SHQ 32kHz	録音時間	約180時間
			ビットレート	192kbps
		HQ 32kHz	録音時間	約260時間
			ビットレート	128kbps
		SP 32kHz	録音時間	約540時間
			ビットレート	64kbps
		SLP 8kHz	録音時間	約4240時間
			ビットレート	8kbps(モノラル)
録画仕様	記録形式	音声	ADPCM 64kbps 8kHz 4bit Stereo	
		動画	AVI (XVID) 1280×720 30fps	
	画素数			100万画素
	センサー			1/4 CMOS
付属品	録画時間			約130分
	<div> <div> ■イヤホン ■Mini USB-USBケーブル ■オーディオケーブル ■ポーチ ■取扱説明書(保証書付) </div> <div> ■電話変換器 ■電話ケーブル </div> </div>			

Content

I Welcome	P.45
Safety	P.46
Hearing safety	P.46
3 Your Voice Tracer digital recorder	P.47
What's in the box?	P.47
Overview	P.47
4 Start To Use	P.49
Power On/Off	P.49
Recharge	P.50
Key Lock (HOLD Function)	P.51
PC Connection	P.51
5 Voice Recording	P.53
Recording Interface Reference:	P.53
Illustration of Recording Interface:	P.53
Use an External Microphone to record	P.55
6 Video Recording	P.56
7 Voice Mode	P.57

Voice Playback Interface Specification:	P.57
Audio Playback	P.57
(1)Play mode	P.58
(2)AB Replay	P.58
(3)Replay Times	P.58
(4)Replay interval	P.59
(5)Variable speed	P.59
(6)Scan speed	P.59
(7)Details	P.60
Delete Files	P.60

8 Music Mode	P.61
Music playback Interface illustration	P.61
(1)EQ Mode	P.62
(2)Play mode	P.62
(3)Display Mode	P.62
(4)AB Replay	P.63
(5)Replay times	P.63
(6)Replay interval	P.64
(7)Variable Speed	P.64
(8)Scan speed	P.64
(9)Details	P.65
Delete Files	P.65

9 Video Mode	P.66
(1)Play mode	P.66
(2) Scan speed	P.66
(3) Details	P.67

Delete Files	P.67
--------------	------

10 Radio Mode	P.68
----------------------	------

11 Setting Mode	P.69
(1)Select Memory	P.69
(2)Select Folder	P.69
(3)Record Type	P.70
Telephone Record	P.70
Line in Record:	P.70
(4)Voice-activated Recording	P.71
(5)The Listen In function	P.71
(6)Automatic file splitting	P.71
(7)Backlight Time	P.71
(8)Auto off	P.72
(9)System time setting	P.72
(10)Record timer	P.73
(11)Language	P.74
(12)Advanced	P.74

12 Frequently Asked Questions	P.75
Cannot switch on the device	P.75
Cannot record with the device	P.75
The device cannot play recorded audio	P.75

13 Technical Parameters	P.76
--------------------------------	------

Storage	P.76
Dimensions and Weight	P.76
System requirement	P.76
Recording	P.76

I Welcome

Welcome to the world of Philips! We are honored by your choice and purchase of Philips' products. You can have Philips' comprehensive technical supports from our website, e.g. user's manuals, software downloading and warranty information etc.
www.philips.com

Product Features

- One-touch voice recording: Just turn on the recording switch to start recording, turn off to save file.
- One-touch video recording: Long press the video recording switch to start recording, short press the stop button to save the file.
- Record in common MP3 format.
- USB2.0 high speed data access.
- Voice-activated recording.
- USB mass storage, ensuring maximum compatibility.

2 Important

Safety

- To avoid a short circuit, do not expose the product to rain or water.
- Do not expose the device to excessive heat caused by heating equipment or direct sunlight.
- Protect the cables from being pinched, particularly at plugs.

Attention! Before using the device please read this User's Manual carefully. The company shall not be liable for any data loss due to erroneous operation or causes of a force majeure. Special attention should be given to correct operations and files back up.

Hearing safety

Observe the following guidelines when using your headphones:

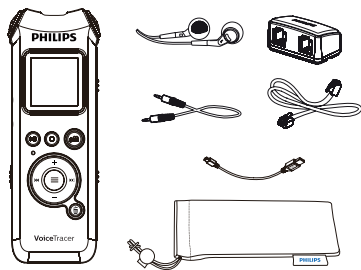
- Adjust to suitable volume, do not use the earphone for a long time.
- Please remember that do not turn the volume up beyond your tolerance.
- Do not turn up the volume so high that you can't hear

what's around you.

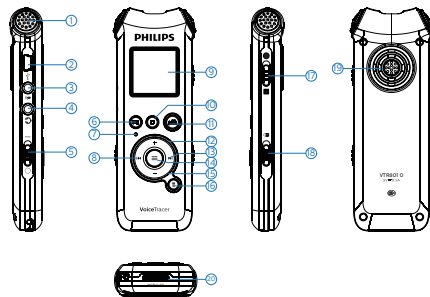
- When in dangerous environment, please carefully use the earphones or stop using.
- Do not use the earphones when driving, cycling, and skateboarding to avoid traffic accident and violating laws and regulations.

3 Your Voice Tracer digital recorder

What's in the box?



Overview



1. Built-in Microphone
2. USB Jack
3. Microphone Jack (Line in)
4. Earphone Jack
5. Power On/Off
6. Play/Pause
7. Record/Play Indicator
8. Previous Track/Fast Backward
9. Display
10. Stop Button, File Folder Switch Button
11. Video Button

12. Volume Up, Menu Selection
13. Next Track/Fast Forward
14. Menu Button
15. Volume Down, Menu Selection
16. Delete
17. Voice Record Button
18. Hold
19. Speaker
20. TF Card Port

4 Start To Use

Power On/Off



Note

- please recharge the device for three hours before using it for the first time!

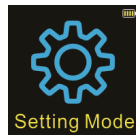
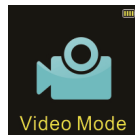
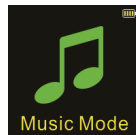
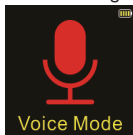
- (1) When the power switch is in OFF position, the device is cut off from power and can't switch on.
- (2) When the power switch is slid to "ON", the device starts automatically and then displays "PHILIPS", See the picture as follow:



Then the device displays the stop playing interface. On this interface, press MENU button for 2 or 3 seconds to return to the main interface.



The main interface includes five modes. The following five pictures show the modes respectively: Voice, Music, Video, Radio and Setting Mode.




Note

- When not taking voice or video recording, users can press MENU button for 2 or 3 seconds to return to main interface.
- From now on, the device's On/Off is controlled by the PLAY button as follows:
- Switch off: When in the power-on state, press the PLAY button until the "Goodbye" is displayed, and then the device is switched off.
- Switch on: When in the power-off state, press the PLAY button until the startup logo "PHILIPS" is displayed.



Note

- The device has a built-in lithium battery. If the device is idle for a long time, please slide the power switch to the "OFF" position.
- If the device cannot work normally, please make sure the device is not out of power.
- When the device is working, please do not cut off the power, otherwise damaged file or malfunction may occur.
- When the battery indicator "  " is displayed, please charge the device promptly.
- Do not format memory and card on PC, otherwise negative impacts may happen to some fuctions of the device.

Recharge



Note

- please slide the power switch to the position of "On".

- (1) Connect the device with PC through USB cable, as follows.



(2) Use the specified charger to charge the device.

When using the above methods to recharge, the device will be in the state of recharging. The battery indicator shows a battery icon turning from empty to full repeatedly, indicating that the device is recharging. Under normal circumstance, the device can be fully recharged in around 2 hours. When the device is fully recharged, the battery icon is full and the orange indicator light turns off.



Note

While the device is connected to a computer, it cannot be operated manually.

Key Lock (HOLD Function)

(1) Slide the HOLD switch to lock position to lock all the buttons on the device, except the slide switch of recording. Then “Hold” is displayed for a while and disappears as shown

in the following picture.



- To unlock buttons, please slide the “HOLD” switch down to OFF.

PC Connection

The device can be used as a USB mass storage to conveniently store, back up and move files. Link the device to a computer with a USB cable. The voice recorder can automatically be recognized as a mass storage device without the need to install any software, as shown in the following picture.



Note

When moving files into or out of the device, please do not disconnect the device from the computer.
While the device is connected to a computer, it cannot be operated manually.

5 Voice Recording

Before using the device, please read carefully the following instructions.

- (1) Slide the record switch to “REC” to start recording; the “Record/Play” indicator flickers red; please place the built-in microphone towards the source of sound.
- (2) Press “PLAY” button to pause recording, then the red light flickers, and the display shows “Pause”.
- (3) Press “PLAY” button again to resume recording.
- (4) Slide the record switch to “STOP” to end recording, the device returns to the stopped playing interface of current recorded file.

Recording Interface Reference:

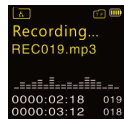


Illustration of Recording Interface:



- 1、Current Folder
- 2、Record state
- 3、Record File name
- 4、Current Time
- 5、Remain Time
- 6、TF Card Memory
- 7、Battery
- 8、Voice energy
- 9、The current file's number
- 10、Already existing file number

Note

When the low battery icon appears, it means the battery is nearly empty and the system will automatically shut down. If the device is recording, the system will automatically save the recorded file then shut down. If the device has low battery, please recharge promptly. After the device shuts down on low battery, the following icon will display.

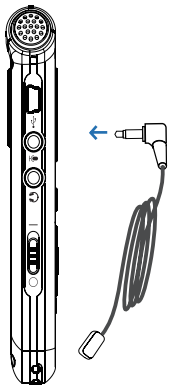


Note

- Prior to recording, please preset the record type you need.
- The recorded file can be stored in any of the A, B, C, D folder; each folder can store up to 99 audio files. If one folder is full with 99 files, the system automatically stores the subsequent files in the next folder. In the case that all four folders are full, please delete some unnecessary files to enable recording.
- Make a test recording to make sure that the Voice Tracer settings are correct.
- Each folder can store 99 files at most, totally 396 files (99 files x 4 folders).
- If the recording time exceeds the usable storage of the device or the number of files reaches the limit of 396, the recording stops. Please delete part of recording or move it to a computer.
- When recording, please do not cut off power; otherwise loss or damage of recorded file may be resulted.
- If need to record for a long time, please charge the device before recording.
- A fully charged battery will allow you to record for 10 hours.

Use an External Microphone to record

When using an external microphone to record, please at first plug it into the Line in jack, and then record according to the procedures of recording with built-in microphone. After you plug in the external microphone, the built-in microphone is disabled. Please note that the plug of the external microphone must be stereo plug as shown in the picture below.



6 Video Recording

When you use this voice recorder to record video for the first time, please read the contents in this section!

- (1) The record video file is stored in the folder named VIDEO, which can maximally store 99 files. If the folder is fully loaded but you need to take another video record, please delete some unnecessary files before recording.
- (2) Press Video button 2Sec to start the recording. Record/Play "indicator turns red.
- (3) Press Video button to pause the recording. Record/Play "indicator flickers
- (4) Press Video button again to continue recording
- (5) Short press Stop button to stop recording and return to the list interface of current record file



Note

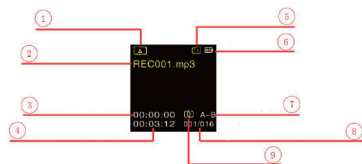
- Do not format memory and card on PC . Please proceed the formatting on the device so as to avoid any negative impacts to video record.

7 Voice Mode

On the main interface you can select the voice mode with “◀◀” or “▶▶” buttons, and then shortly press the menu button to enter. Please refer to the Voice Stop interface below:



Voice Playback Interface Specification:



- 1、Current Folder
- 2、Current File Name

- 3、Current Time
- 4、Total Time
- 5、TF Card Memory
- 6、Battery
- 7、A-B Repeat
- 8、Index
- 9、Circulation Mode

Audio Playback

- (1) In the Stop Mode of recorded file, press STOP button to select the folder you prefer.
- (2) Press “◀◀” or “▶▶” to select a file to play.
- (3) Press Play button to start playing, “record / playback” indicator will turn green.
- (4) Press “+” and “-” to adjust volume.
- (5) Press STOP to stop playing. When the playing is stopped, press down the MENU button for about 2 seconds to return to the main interface.
- (6) When playing, press PLAY to pause, press PLAY again to continue playing.
- (7) When playing, press “◀◀” or “▶▶” for a few seconds to fast forward or backward.



Note

- If the earphone is plugged in, the speaker is disabled.

After the audio file is selected, press the PLAY button shortly to play. When playing, press shortly the MENU button to pop up the following menu list: Play Mode, AB Replay, Replay Times, Replay Interval, Variable Speed, Scan speed, Information. See the below interface reference:

Play Mode >	Variable Speed
AB Replay	Scan Speed
Replay Times	Information
Replay Interval	Exit

(1) Play mode

As “Play mode” menu is selected, the press the “MENU” button will enter the playback mode selection, you can choose the playback mode you need to reference the interface as shown below:

Sequence >
Repeat One
Repeat Folder
Random

Sequence: play the file selected directory in order, all played out a times the current directory's documents to be automatic stop playing.
Repeat One: play current music repeatedly.
Repeat Folder: play all files in the selected folder.
Random: randomly play the selected folder.

(2) AB Replay

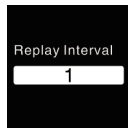
Choose “AB Replay” from the Playing Modes, then press MENU button to enter AB Replay. For operations of AB Replay please refer to AB Replay section in “Music playback”.

(3) Replay Times

Select “Replay Times” option from play menu list, then press Menu button to enter into setting menu of Replay Times. Adjust the times by “◀◀” or “▶▶”. The reference interface is shown as below:

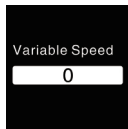
(4)Replay interval

Replay interval means the time interval between two replays. You can select “Replay interval” option in the play menu list, then press Menu button to enter into setting of Replay interval. Adjust the time of Replay interval (time unit: second) by “◀◀” or “▶▶” button. The reference interface is shown as below:



(5)Variable speed

Select “Variable Speed” option in play menu list, then press Menu button to enter into the menu of Variable Speed. Adjust the play speed by “◀◀” or “▶▶” button. The reference interface is shown as below:

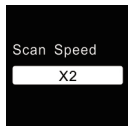


Note

- Variable Speed does not support PCM recordings.

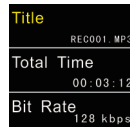
(6)Scan speed

Select “Scan Speed” option in play menu list, then press Menu button to enter into the menu of Scan speed. Adjust the Scan speed by “◀◀” or “▶▶” button. Scan speed means the speed for fast forward or fast backward. The reference interface is shown as below:



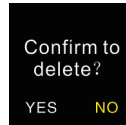
(7)Details

Get detailed information of the playing file from this menu, such as bit rate, sampling rate and total time and so on. The reference interface is shown as below:



Delete Files

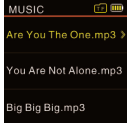
On the playing music interface, press the DELETE for about 2 seconds, the interface of the following picture will appear. Below are the pictures of the deletion operations:



Press “◀◀” and “▶▶” to choose “YES” to confirm deletion, “NO” to keep file; press MENU button to execute.

8 Music Mode

From the main interface, you can choose music mode with “◀◀” or “▶▶” buttons, and then shortly press the MENU button to enter. Files list interface is as follows:



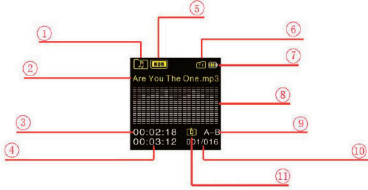
Then, shortly press the Play button to enter the music playback interface. Music playback interface is as follows:



Note

- music files can only be played when they are in “MUSIC” folder.

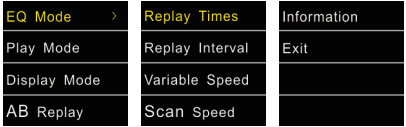
Music playback Interface illustration



- 1、Music Folder
- 2、Current File Name
- 3、Current Time
- 4、Total Time
- 5、EQ
- 6、TF Card Memory
- 7、Battery
- 8、Spectrum
- 9、A-B Repeat
- 10、Index
- 11、Circulation Mode

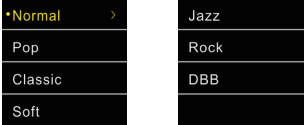
You can select the music you want to play by pressing “◀◀” and “▶▶”, then press PLAY to play the music. When playing, shortly press the MENU button, the below menu pops up with modes: EQ mode, Play mode, Display mode, AB replay,

Replay times, Replay interval, Variable Speed, Scan speed and Information. See the interface as follows:



(1)EQ Mode

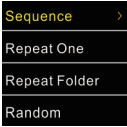
From the Playing Menu list, select “EQ Mode”, press MENU button to enter. The Equalizer includes: Normal, Pop, Classic, Soft, Jazz, Rock and DBB. Refer the below pictures:



In the EQ Mode, you can choose mode with “+” and “-” buttons, press MENU button to confirm.

(2)Play mode

From the menu list, select “Play Mode”, press MENU button to enter. See the interface as follows:



Sequence: play files sequentially from selected folder. After playing all the files in the current folder, the playing stops automatically.

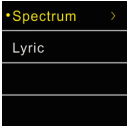
Repeat one: repeat continuously the selected file.

Repeat Folder: repeat playing files from the selected folder.

Random: randomly play files in selected folder.

(3)Display Mode

Select “Display Mode” option from menu list, then press Menu button to enter into the menu list of display mode. The reference interface is shown as below:



Spectrum: The display screen shows the spectrum of the playing music.

Lyric: The display screen shows lyrics if there lyric file that matches with music files are in the device.

Lyrics synchronized display

The device supports files with “*.lrc” as file extension to realize lyrics synchronized display



Note

- 1.The lyric file name should be in accordance with music file name.
- 2.The display screen will shows the lyric if the proper lyric file is available.

(4)AB Replay

From the menu list, select “AB Replay”, press MENU button to enter.

Set AB Replay

- Set the start mark: When playing, shortly press MENU button to enter Playing Menu, then shortly press “+” or “-” to select “AB Replay” mode, then press MENU button to confirm and return to the state of music playing. The “A” from “A-B” on OLED display turns yellow and the start point is set. If you need to reset the start point A, shortly

press “⏮” to make confirmation.

- Set the finish mark: After setting mark A, shortly press “⏮” to set the finish mark and the “B” in “A-B” on OLED display turns yellow as well. When the “A-B” is displayed in yellow on the OLED, the section between mark A and B will be replayed for specified times. After playing specified times, the system resumes normal playing. If AB Replay is not needed, use any of the following methods to cancel the AB Replay mode.

Cancellation: Shortly press “PLAY” button to cancel the AB marks and pause playing.

Shortly press “STOP” button to cancel the AB marks and stop playing.

Shortly press “MENU” button to cancel the AB marks and return to normal playing.

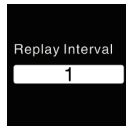
(5)Replay times

Select “Replay times” option in play menu list, then press Menu button to enter into setting menu of Replay times. Adjust the times by “⏮” or “⏭”. The reference interface is shown as below:



(6)Replay interval

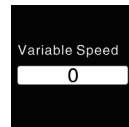
Replay interval means the time interval between two Replays. You can select “Replay interval” option in the play menu list, then press Menu button to enter into setting of Replay interval. Adjust the time of Replay interval (time unit: second) by “⏮” or “⏭” button. The reference interface is shown as below:



(7)Variable Speed

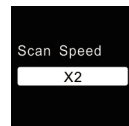
Select “Variable Speed” option in play menu list, then press

Menu button to enter into the setting menu of Variable Speed. Adjust the play speed by “⏮” or “⏭” button. The reference interface is shown as below:



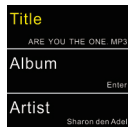
(8)Scan speed

Select “Scan Speed” option in play menu list, then press Menu button to enter into the setting menu of Scan speed. Adjust the Scan speed by “⏮” or “⏭” button. Scan speed means the speed for fast forward or fast backward. The reference interface is shown as below:



(9)Details

Get detailed information of the playing file from this menu, such as bit rate, sampling rate and total time and so on. The reference interface is shown as below:



Delete Files

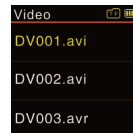
On the stopped playing interface, press the DELETE button for about 2 seconds, the interface of the following picture will appear. Below are the pictures of the deletion operations:



If the device shows the interface on the left side, press “+” or “-” button to select individual or all files; if the device shows the interface on the right side, press “◀◀” and “▶▶” to choose “YES” to confirm deletion, “NO” to keep file; press MENU button to execute.

9 Video Mode

On the main interface, we can select video mode by “◀◀” or “▶▶” button, and then press the Menu button to enter into the interface of file list. The interface of file list is shown as below:



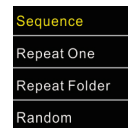
Shortly press Play button to enter into the interface of video play. The reference interface of video play is shown as below:



You can select your desired video by “+” or “-” button and press Play button to play it. When playing video, short press Menu button and the following menu list will pop up: play mode, scanning speed and details. The reference interface is shown .

(1) Play mode

When an option is selected, the corresponding area will turn yellow. As the above picture shows, when you select “Play Mode” option and then press Menu button, it will enter into selection menu of play mode. You can select play mode you want. The reference interface is shown as below:



Sequence: Play the selected files of the list in order. It will stop automatically after playing the current file list for one time.

Repeat One: Play the selected file repeatedly.

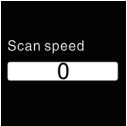
Repeat Folder: Play the selected files from the selected folder repeatedly.

Random: Play the selected files in the folder randomly.

(2) Scan speed

Select “Scan Speed” option in play menu list, then press Menu button to enter into the setting menu of scanning speed. You

can select the scanning speed by “+” or “-” button and press Menu button for confirmation. The reference interface is shown as below:



(3) Details

The detailed information of the playing file can be found from the menu list, such as bit rate, sampling rate and total time and so on. The reference interface is shown as below:



Delete Files

In the interface of file list, press the Delete button for about

2 seconds, and it will display the following interface. The related reference picture showing deleting steps are as below:



If the device shows the interface on the left side, select “+” or “-” button to choose to delete single file or all files. If the device shows the interface on the left side, select “YES” to confirm deleting or “NO” to retain file by “⏮” or “⏭” button. Press Menu button to execute the option.

I0 Radio Mode

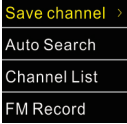
From the main menu select Radio Mode, press MENU button to enter: See the below picture of Radio Mode:



frequency mode

user mode

In radio mode, there are “user mode” and “frequency mode” to switch, if some radio channels have been already saved. Short press PLAY button to switch between the two modes; if no radio channels have been saved, there is only “frequency mode” available. In the frequency mode, press “⏮” or “⏭” button to choose radio frequency, press MENU button to display: Save Channel, Auto Search, Channel List and FM Record. In the user mode, press “⏮” or “⏭” button to choose saved channel, press MENU button to display: Delete Channel, Auto Search, Channel List and FM Record. The reference interface is shown as below:

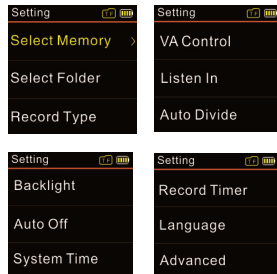


After Auto Search is selected, the system automatically searches radio channels. When a radio channel is found, the channel will be saved automatically and the radio channel number is saved in the channel list. In the frequency mode, users can save channels in a manual way. In user mode, users can choose Delete Channel to delete a current saved channel or Delete all saved channels. The device can store 40 radio channels at most. Saved radio channels can be seen from the channel list. Press “+” or “-” to switch among saved radio channels in sequence and press MENU button to start listening to the radio channel. If users choose FM Record, the system starts recording the radio. See the interface picture below:



11 Setting Mode

From the main menu select Setting mode, press MENU button to enter. The Setting mode interface includes: Select Memory, Select Folder, Record Type, Digital Noise Reduction, Voice Activate Control, Listen In, Auto Divide Feature Recording, Backlight, Auto off, System Time, Recorder Timer, Language and Advanced. See the interface picture below:



After the Micro TF is inserted into the device, device will display the other option: Card Memory. Users can select the storage location for recorded files. See the interface picture below:

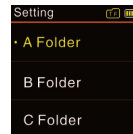


Note

- PCM recordings are only stored in internal memory of the device.

(2)Select Folder

The recorded file can be stored in any of the A, B, C, D folder. See the interface picture below:



(3)Record Type

From the Record Type Menu users have five Record types for selection: HPCM Record, PCM Record, SHQ Record, HQ Record, SP Record and SLP Record. If the PCM record type is selected, the device saves the recorded file automatically when PCM recording reaches one hour, and then starts the next recording. See the interface picture below:



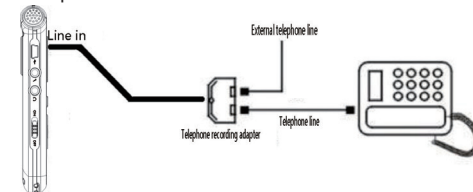
HPCM REC: WAV format, high sound quality, bit rate: 3072kbps.

PCM REC: WAV format, high sound quality, bit rate: 1536kbps.

SHQ REC: MP3 format, high sound quality, bit rate: 192kbps.
 HQ REC: MP3 format, high sound quality, bit rate: 128kbps.
 SP REC: MP3 format, good sound quality, bit rate: 64kbps.
 SLP REC: MP3 format, ordinary sound quality, bit rate: 8kbps.

Telephone Record

Connect the telephone cable provided with the device and external telephone cable to the telephone adapter. According to the drawing, the operation is the same as recording with microphone.



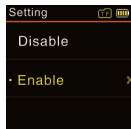
Line in Record:

Line in recording is a way of recording sound by connecting the device to an audio equipment's audio output via a stereo

audio cable (audio equipments such as radio, CD, VCD, DVD etc.). Use the stereo audio cable provided with the device to connect the audio equipment's audio output with "Line in" jack of the device. The recording operation is the same as recording with microphone. Before recording with Line in jack, please adjust the volume of the sound source to a suitable level, otherwise the recorded sound may lack fidelity.

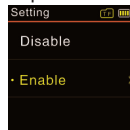
(4)Voice-activated Recording

This is a practical function of recording, no button operation is needed. When the function is enabled, in the course of recording, if no voice is detected, the device will automatically pause recording after 3 seconds; if voice is detected again, the device resumes recording. See the below related reference picture:



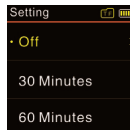
(5)The Listen In function

After activating the Listen In function, you can connect an earphone to listen if there's any sound input. See the Listen in function setting interface picture as follows:



(6)Automatic file splitting

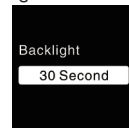
When recording, the device will automatically save the recording file every 30 or 60 minutes, and then continue the recording. See the below related reference picture:



(7)Backlight Time

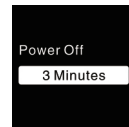
The backlight time function can be set at: 15, 30, 45, 60

seconds and Constant. If there's no operation on the device for the set time, the backlight turns off automatically. If you select 0, the backlight is to be always. See the below picture of Backlight Time setting:



(8)Auto off

If there's no operation on the device for a set time, the system automatically shuts down. If the time is set at 0, the system will not automatically shut down. See the below auto off picture:

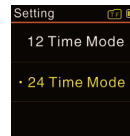


(9)System time setting

See the below picture of System time setting:

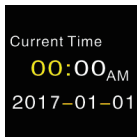


On this interface, users can set the current time and the time display format. For example, when select "Time Mode", the device shows the picture as follow:



From the list, users can choose one of two time display format: 12-hour clock or 24-hour clock. The default setting is 12-hour clock. When select "Real Time", the device shows the picture as follow:

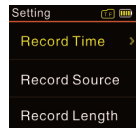
On this interface, press "+" or "-" button to set the real time. Press "◀" or "▶" button to select "Year", "Month", "Day", "Hour", "Minute"; press "+" or "-" to adjust the value.



(10)Record timer

Record timer: preset the time at first, when system time reaches the set time, the device starts voice recording automatically.

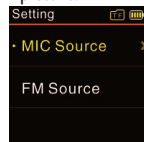
From the menu list, select “Record Timer” to enter to set the record timer. See the below auto off picture:



The interface of Record Time is as follow:



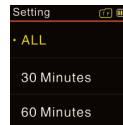
On this interface, users can set the time when the device starts recording automatically. The method to perform the setting refers to “System Time Setting”.
Record source: users can select either voice source from the microphone or radio by pressing “+”or“-”. The default setting takes the voice picks up by microphone as recording source. See the below auto off picture:



If the “FM Source” is selected, the radio will be the sour for voice recording. Press Menu button to set the frequency point.

Duration:

Users can set the duration of recording to 30 minutes, 60 minutes, and 120 minutes or unlimited. See the below auto off picture:



Note

After the duration was set, please make sure the switch is in the position of ON when the device is power off, otherwise the device will not start recording when it reaches the preset time.

(11)Language

From the Language menu you can choose a language as system language. See the following interface picture:



(12)Advanced

The Advanced menu list includes: Information, Clear Internal Memory, Clear Card Memory and Reset Default Setting. See the following interface picture:



Information: users can check the device’s firmware version and check the remaining capacity of memory by using this function.

Clear internal memory: users can format the device’s internal memory by using this function.

Clear card memory: users can format the device’s card memory by using this function.

Reset default setting: users can reset the system to default setting.

12 Frequently Asked Questions

Answers to the frequently asked questions are listed here to solve simple problems that may to the device. If the problem cannot be solved, please contact the dealer or visit our official website: www.philips.com/support

Cannot switch on the device:

The battery is empty, please recharge promptly.

Cannot record with the device:

The maximum file number is exceeded or the device's memory is full. Please delete some recordings or move them to other storage devices.

The device cannot play recorded audio:

- (1) The device may be in lock mode (HOLD). Slide the HOLD switch to OFF position.
- (2) The battery is empty, please recharge.

13 Technical Parameters

Storage

Internal storage

Estimated recording time (16GB): 11 hours with HPCM Recording mode, 22 hours with PCM Recording mode, 180 hours with SHQ Recording mode, 260 hours with HQ Recording mode, 540 hours with SP Recording mode, approximately 4240 hours with SLP Recording mode.
Type of internal storage: NAND Flash
Portable storage (PC): Yes

Dimensions and Weight

Wide × Long × High: 38×104×14(mm)
Weight (with battery): 80g

System requirement

Operating System: Windows 7/Vista/XP/2000, Mac OS X, Linux
Port: USB

Recording

HPCM REC: bit rate 3072kbps, WAV format
PCM REC: bit rate 1536kbps, WAV format
SHQ REC: bit rate 192kbps, MP3 format
HQ REC: bit rate 128kbps, MP3 format
SP REC: bit rate 64kbps, MP3 format
SLP REC: bit rate 8kbps, MP3 format
Operating conditions
Temperature: 5°–45°C
Humidity: 10% – 90%, no condensation